

HD カラービデオ カメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRG-120DS

目次

概要

特長	3
この取扱説明書の使いかた	3
システム構成例	4
1 台のカメラを付属の赤外線リモコンで操作する とき	4
1 台のカメラを IP リモートコントローラーで 操作するとき	4
複数台のカメラを IP リモートコントローラーで 操作するとき	5
複数台のカメラを複数台の IP リモートコント ローラーで操作するとき	6
意図せぬ第三者からのカメラへのアクセスを防ぐた めの注意事項	7

メニューで行う調整と設定

メニュー画面の見かた	8
メインメニュー	8
設定メニュー	8
操作ボタン表示部	8
EXPOSURE メニュー	9
WHITE BALANCE メニュー	10
PICTURE メニュー	11
PAN TILT ZOOM メニュー	11
SYSTEM メニュー	12
STATUS メニュー	13

付属の赤外線リモコンを使った操作

パン・チルト・ズームを操作する	14
パン・チルトする	14
ズームする	15
複数のカメラを赤外線リモコンで操作する	15
カメラを調節する	15
ピントを合わせる	15
逆光を補正する	15
カメラの状態を記憶させるプリセット機能	16

付録

メッセージ一覧	17
故障かな？と思ったら	18
メニューの構成	19
プリセット項目	21
ライセンスについて	22

特長

- 1/2.8 型 Exmor CMOS（有効画素約 200 万画素）を採用し高感度、高精細の HD 映像が得られます。
- 光学倍率 12 倍、水平画角が 71 度の広い範囲を撮影できるズームレンズを搭載しています。
- ワイドダイナミックレンジ機能の搭載により、明るい被写体と暗い被写体を同時に有している画面にて最適映像が可能となります。
- 外部通信で業界標準である VISCA カメラプロトコルの RS-232 インターフェースを搭載しています。
- 高速、静音性に優れたパンチルト機能により、多目的に使えます。
- 赤外線リモコンで、Pan、Tilt、Zoom に加えてメニュー表示からカメラ設定が可能です。
- カメラの向きや状態を 16 種類まで記憶できます。赤外線リモコンの場合は、6 種類になります。
- LAN ケーブルでの外部通信が可能です。システム構築の利便性が高まります。
- 多彩な HD ビデオフォーマットの設定が可能で、SDI ビデオ出力端子を備えています。

この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書は、本機をネットワーク経由でコンピューターから操作する方法および別売のリモートコントローラーから操作する方法を説明しています。

この取扱説明書は、コンピューターの画面上に表示して読まれることを想定して書かれています。

ここでは取扱説明書をご活用いただくために知っておいていただきたい内容を記載しています。操作の前にお読みください。

関連ページへのジャンプ

コンピューターの画面上でご覧になっている場合、関連ページが表示されている部分をクリックすると、その説明のページへジャンプします。関連ページが簡単に検索できます。

取扱説明書のプリントアウトについて

この取扱説明書をプリントする場合、お使いのシステムによっては、画面やイラストの細部までを再現できないことがあります。ご了承ください。

リモートコントローラーについて

付属の赤外線リモコンや別売りアクセサリーの IP リモートコントローラーを使って操作や設定ができます。

設置説明書（印刷物）について

付属の設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や基本的な設置・接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

システム構成例

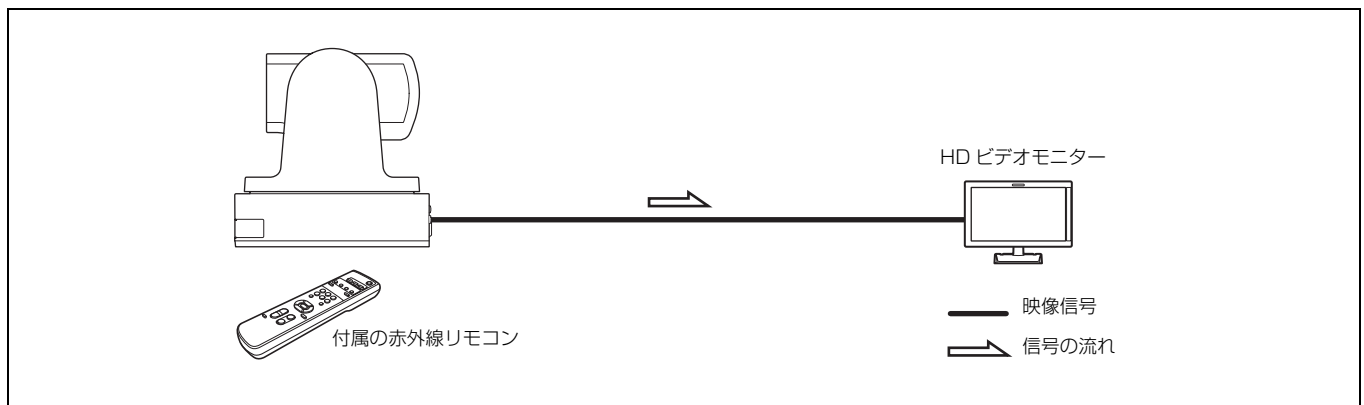
本機は、別売機器との組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。ここでは、代表的なシステム例をあげて、システムの構成に必要な機器とそのシステムでどんなことができるかを説明します。

1 台のカメラを付属の赤外線リモコンで操作するとき

このシステムでできること

短距離で簡単にカメラを操作できます。

システム構成図

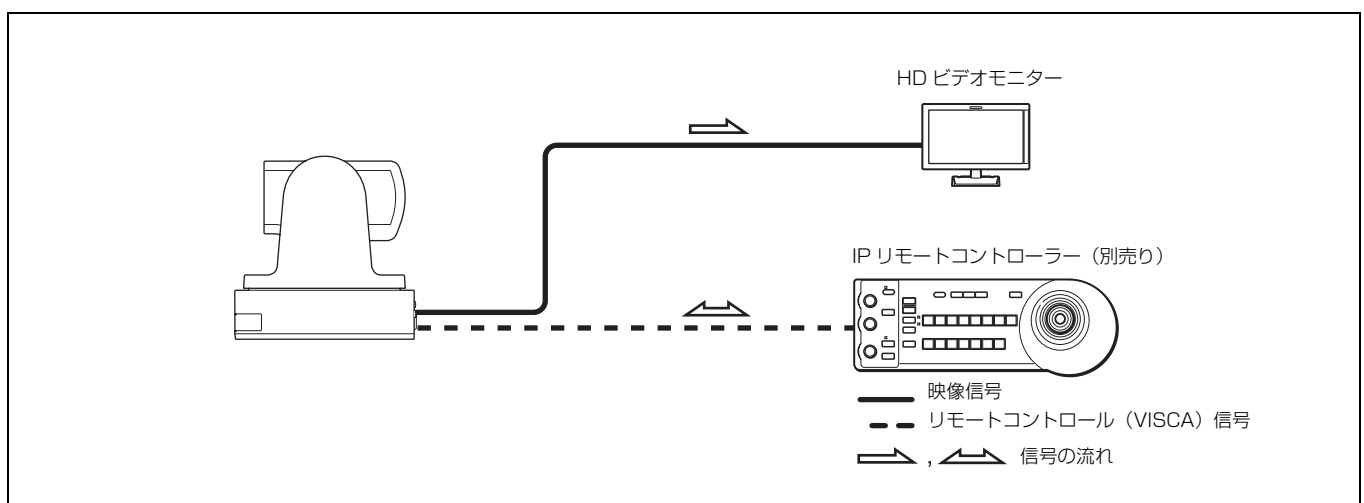


1 台のカメラを IP リモートコントローラーで操作するとき

このシステムでできること

IP リモートコントローラーのジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。また、ボタン操作で Preset 動作などができます。

システム構成図



ご注意

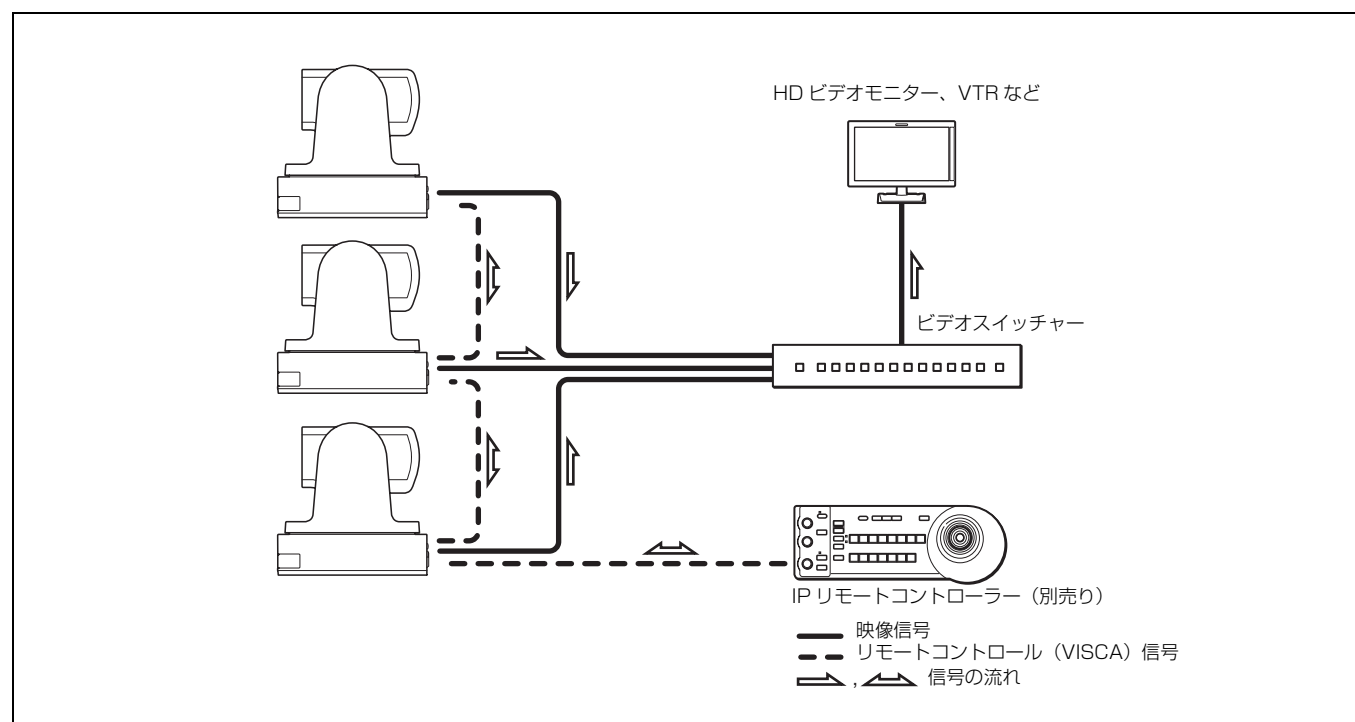
本機と IP リモートコントローラーを組み合わせで使用する場合、IP リモートコントローラーの MODE 切り替え SW を 0 の位置（自動判別）にしてお使いください。詳細は IP リモートコントローラーの取扱説明書を参照してください。

複数台のカメラを IP リモートコントローラーで操作するとき

このシステムでできること

最大7台のカメラを別売りの IP リモートコントローラーでデージーチェーン接続し操作できます。

システム構成図



ご注意

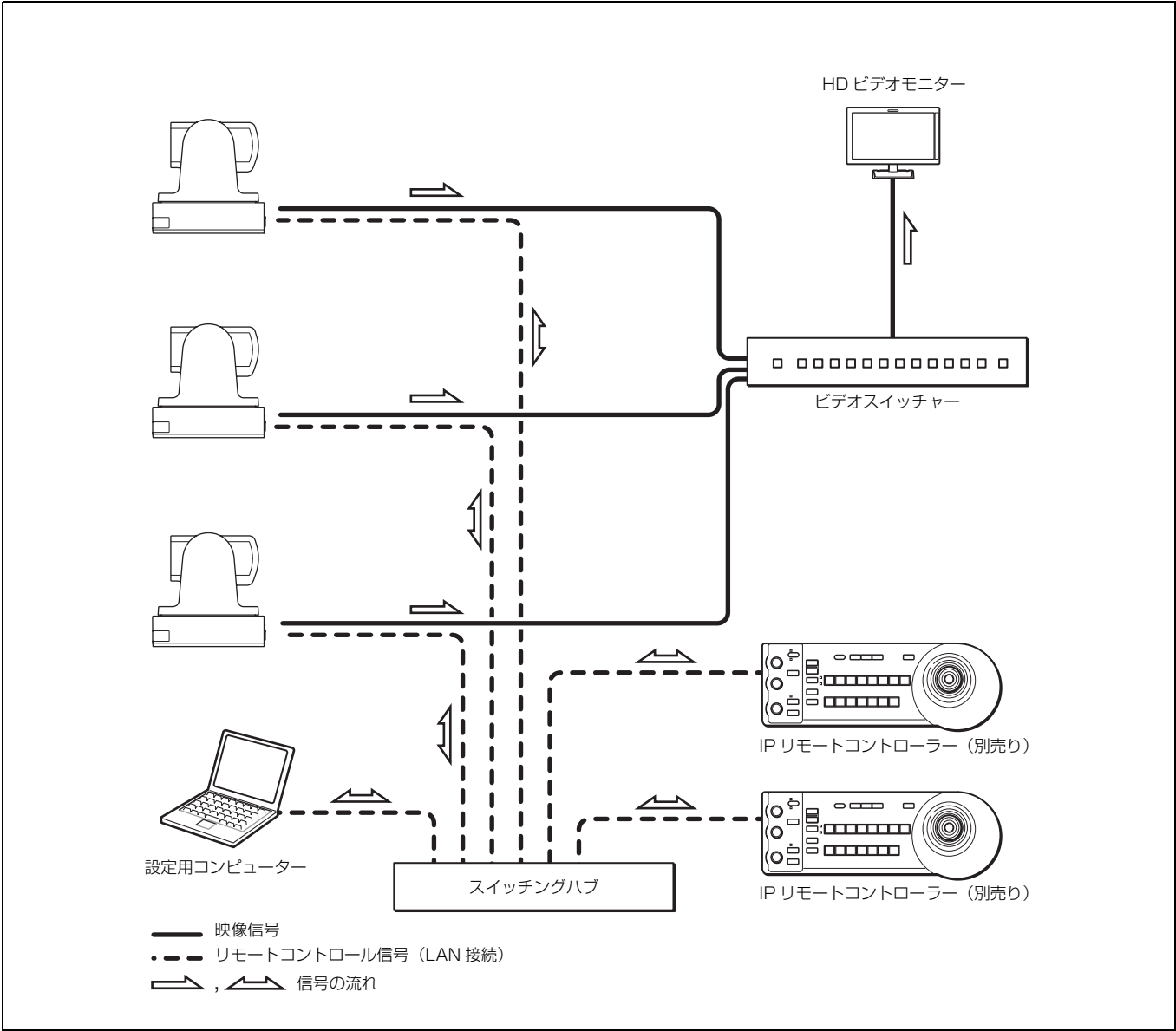
- VISCA 通信は RS-232 接続のみ可能です。
- 通信速度はカメラと IP リモートコントローラーで合わせる必要があります。
- LAN 接続時は RS-232 接続は使用できません。

複数台のカメラを複数台の IP リモートコントローラーで操作するとき

このシステムでできること

- 最大 112 台のカメラ、5 台の IP リモートコントローラーが操作できます。
- ジョイスティックでパン・チルト・ズーム操作ができます。

システム構成図



ご注意

LAN 接続時は RS-232 接続は使用できません。

意図せぬ第三者からのカメラへのアクセスを防ぐための注意事項

使用環境によってはネットワーク（LAN、VISCA）上の意図せぬ第三者からカメラにアクセスされる可能性があります。

意図せぬ第三者からアクセスされた場合、視聴を妨げる操作・設定がおこなわれる等のリスクがあります。

例としてネットワーク機器が管理者に無許可でネットワークに接続されている、あるいは接続することができるネットワーク環境や、ネットワークに接続されたコンピューター等のネットワーク機器が許可なく使用可能な環境では、カメラに不正なアクセスをされる可能性があります。

こうした環境への接続は、お客様の責任において行ってください。

メニューで行う調整と設定

メニュー画面の見かた

本機では、撮影の条件や本機のシステムセットアップなどを、コンピューターの画面に表示されるメニューを見ながら設定できます。

実際の操作を始める前にメニュー画面の見かたを説明します。

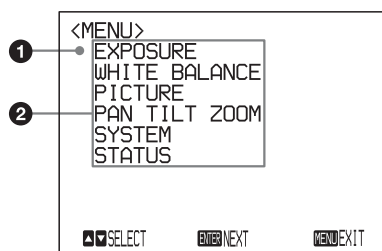
メニュー画面全体の構成については、「メニューの構成」(19 ページ)をご覧ください。

ご注意

メニュー表示中は、パン・チルト操作はできません。

メインメニュー

付属の赤外線リモコンの DATA SCREEN ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。



① 選択表示

設定メニューを選択します。

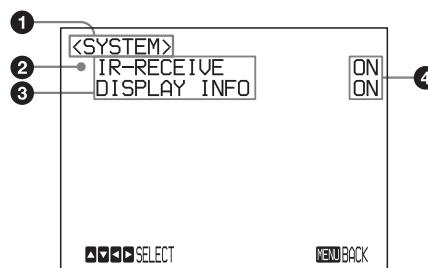
現在選択されている項目は、カーソルで表示されます。赤外線リモコンの▲または▼ボタンを押すと、カーソルが上下に動きます。

② メニュー項目

赤外線リモコンの▲または▼ボタンで設定メニューを選択し、HOMEボタンを押すと、選んだ設定メニューが表示されます。

設定メニュー

メインメニューで選択した設定メニューが表示されます。



① 設定メニュー

現在選択されているメニュー名が表示されます。

② 選択表示

設定項目を選択します。

現在選択されている項目は、カーソルで表示されます。赤外線リモコンの▲または▼ボタンを押すと、カーソルが上下に動きます。

③ 設定項目

この設定メニューで選択できる設定項目が表示されます。赤外線リモコンの▲または▼ボタンで設定項目を選択します。

④ 設定値

現在設定されている設定値が表示されます。

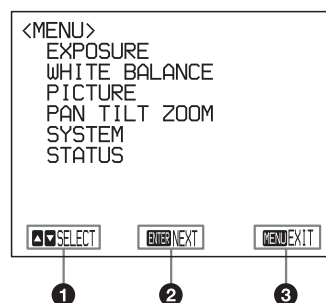
赤外線リモコンの▲または▼ボタンで設定を変更します。

各設定項目の初期設定値については、「メニューの構成」(19 ページ)をご覧ください。

操作ボタン表示部

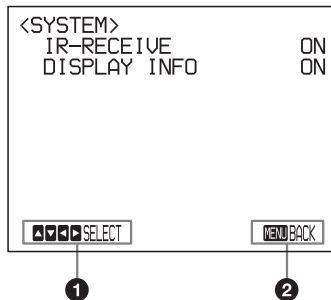
画面に表示される名称と、赤外線リモコンのボタンの名称が異なります。下図を参照して、赤外線リモコンのボタンを押してください。

メインメニュー



- ① 赤外線リモコンの▲または▼ボタンで項目を選ぶことができることを示しています。選択されている項目はカーソルで表示されます。
- ② 赤外線リモコンの HOME ボタンを押すと、次の階層へ移動することを示しています。
- ③ 赤外線リモコンの DATA SCREEN ボタンを押すと、メインメニューから抜けて通常画面に戻ることを示しています。

設定画面



- ① 赤外線リモコンの▲または▼ボタンで設定項目を選び、▲または▼ボタンで設定値を変更できることを示しています。
- ② DATA SCREEN ボタンを押すと、メインメニューへ戻ることを示しています。

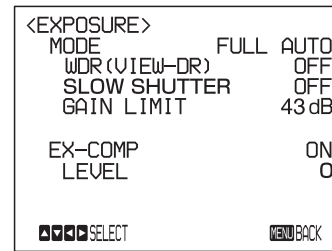
ご注意

付属の赤外線リモコンでメニューを操作している場合は、SYSTEM メニューの IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、VISCA コマンドをご使用ください。

VISCA コマンドリストについては、テクニカルマニュアルを参照してください。テクニカルマニュアルについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

EXPOSURE メニュー

露出調整のメニューです。



MODE (露出モード)

FULL AUTO：感度、電子シャッター、絞りをすべて使用して、露出を自動調整します。

BRIGHT：ブライトレベル (LEVEL) を調整します。

SHUTTER PRI：感度と絞りを使用して露出を自動調整します。電子シャッター (SPEED) は手動調整します。

IRIS PRI：感度と電子シャッターを使用して露出を自動調整します。絞り (IRIS) は手動調整します。

MANUAL：感度 (GAIN)、電子シャッター (SPEED)、絞り (IRIS) をそれぞれ手動調整します。

上記のモードを選択すると、下記の設定項目のうち、選択したモードで設定可能な項目が新たに表示されます。

GAIN：感度を選択します。

0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30、33、36、39、43 dB から選択できます。

SPEED：電子シャッターのシャッタースピードを選択します。

信号フォーマットが 59.94/29.97 のとき

1/1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/725、1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、1/4000、1/6000、1/10000 から選択できます。

信号フォーマットが 50/25 のとき

1/1、1/2、1/3、1/6、1/12、1/25、1/50、1/75、1/100、1/120、1/150、1/215、1/300、1/425、1/600、1/1000、1/1250、1/1750、1/2500、1/3500、1/6000、1/10000 から選択できます。

IRIS：絞りを選択します。

CLOSE、F14、F11、F9.6、F8.0、F6.8、F5.6、F4.8、F4.0、F3.4、F2.8、F2.4、F2.0、F1.8 から選択できます。

LEVEL：ブライトネスレベルを選択します。0、5～31 から選択できます。

WDR(VIEW-DR) (広ダイナミックレンジモード) : MODE (露出モード) が FULL AUTO のとき、同一撮影シーン内の暗い部分と明るい部分を判別し、暗い部分を明るくし、かつ、明るい部分の白とびも抑えます。

OFF、LOW、MID、HIGH から選択できます。

ご注意

- WDR(VIEW-DR)はFULL AUTO時のみ設定が可能です。
- WDR(VIEW-DR)がOFF以外の設定時にはMODEの設定はFULL AUTOで固定になります。
- WDR(VIEW-DR)切り替え時に画面の輝度変化が一瞬発生します。
- 露光の変化が大きい場合に、画面が一瞬停止することがあります。

GAIN LIMIT : FULL AUTO、SHUTTER PRI、IRIS PRI のときに、感度アップの上限値を設定します。9、12、15、18、21、24、27、30、33、36、39、43 dB から選択できます。

EX-COMP (露出補正)

MODE (露出モード) が FULL AUTO、SHUTTER PRI、IRIS PRI のとき ON にすると、露出補正ができます。EX-COMP を ON にすると LEVEL (露出補正レベル) が表示されます。

-7、-6、-5、-4、-3、-2、-1、0、+1、+2、+3、+4、+5、+6、+7 から選択できます。

0 は露出補正されません。+7 は最も明るく、-7 は最も暗く設定されます。

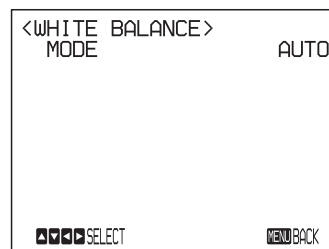
OFF は露出補正機能が働きません。

SLOW SHUTTER (スローシャッター)

「ON」に設定すると、被写体照度が下がったときに自動でスローシャッターに入るように制御します。AE モードが FULL AUTO のときのみ有効です。

WHITE BALANCE メニュー

ホワイトバランスの調整メニューです。



MODE (ホワイトバランスモード)

ホワイトバランスモードを選択します。

AUTO (自動)、IN DOOR (室内)、OUT DOOR (屋外)、ONE PUSH (ワンプッシュ)、ATW (全引き込み自動)、MANUAL (手動) から選択できます。

MANUAL を選択すると、R.GAIN (赤ゲイン)、B.GAIN (青ゲイン) が表示されます。それぞれ、-128 ~ 127 の範囲で選択できます。

ONE PUSH を選択したときは

次の操作をしてください。

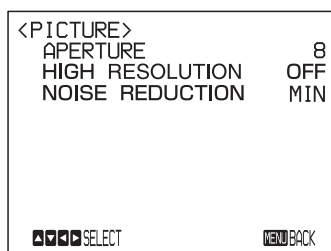
- 1 画面中央に大きく白い被写体を写す。
- 2 付属の赤外線リモコンの HOME ボタンを押す。

ホワイトバランス調整が実行されます。

SYSTEM メニューで DISPLAY INFO (12 ページ参照) を ON に設定しておくと、ホワイトバランスの調整結果がモニターに表示されます。

PICTURE メニュー

画質調整用のメニューです。



APERTURE (輪郭補正)

輪郭補正レベルを選択します。

MIN、1 ～ 14、MAX から選択できます。

HIGH RESOLUTION (高解像度モード)

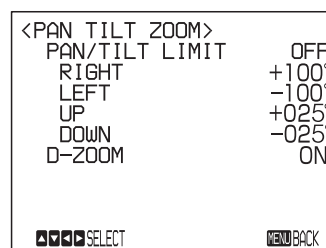
HIGH RESOLUTION (高解像度モード) の ON/OFF を選択できます。ON に設定すると、エッジを強調し、より解像感のある映像が得られます。

NOISE REDUCTION (ノイズリダクション)

ノイズ (固定パターンノイズ、ランダムノイズなど) を除去して、より鮮明な映像を得るための機能です。OFF (MIN) の状態を含めて、レベル 1 からレベル 5 (MAX) まで 6 段階あります。

PAN TILT ZOOM メニュー

パン・チルト・ズーム用のメニューです。



PAN/TILT LIMIT (パン・チルト制限)

PAN/TILT LIMIT を ON にするとパン・チルト範囲の制限ができます。以下の設定値を選択できます。

RIGHT : +100° ～ -99° まで、1° ごとに選択可能。

LEFT : +99° ～ -100° まで、1° ごとに選択可能。

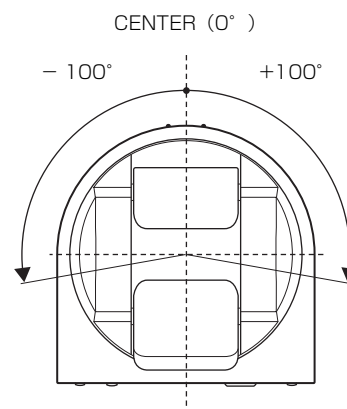
UP : +25° ～ -24° まで、1° ごとに選択可能。

DOWN : +24° ～ -25° まで、1° ごとに選択可能。

で注意

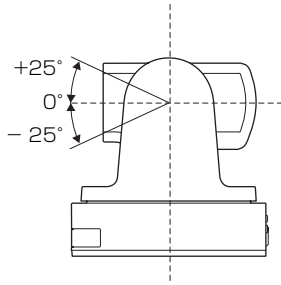
設定値の表示は、◀または▶ ボタンを離したときに更新されます。パン・チルト駆動中は表示が変わりませ

LEFT/RIGHT の設定範囲



で注意

PAN/TILT LIMIT (パン・チルト制限) は、設定後すぐに反映されます。また電源を 1 度切ってから再度入れたときに、電源を切る前の状態を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。詳しくは、「カメラの状態を記憶させるープリセット機能」(16 ページ) をご覧ください。

**ご注意**

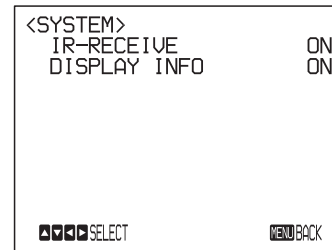
カメラを下方向へ 25 度下げた状態で、カメラを左右 90 度以上回転させた場合、レンズのズーム位置によってはカメラ本体が映り込むことがあります。

D-ZOOM (デジタルズーム)

デジタルズームの ON/OFF を選択できます。OFF 時は、デジタルズームは動作せず、光学ズームのみの動作になります。ON 時は光学ズームが MAX (12 倍) になった後にデジタルズームモードになります。最大 144 倍のズームができます。

デジタルズーム有効時は、解像度が低下します。

SYSTEM メニュー

**IR-RECEIVE (赤外線受光)**

OFF にすると、付属の赤外線リモコンの信号を受け付けなくなります。

付属の赤外線リモコンを使うときは、必ず ON にしてください。

ご注意

付属の赤外線リモコンでメニューを操作している場合は、IR-RECEIVE を OFF に設定することはできません。IR-RECEIVE を OFF にするには、VISCA コマンドをご使用ください。

DISPLAY INFO

ON にすると、付属の赤外線リモコンで下記の操作を行ったときに、画面にメッセージが約 3 秒間表示されます。

メッセージ	赤外線リモコンでの操作
PRESET n : OK n はプリセットのポジション番号 赤外線リモコンの 1 ~ 6	POSITION 1 ~ 6 にカメラの状態を記憶させたとき。
RECALL n : OK n はプリセットのポジション番号 赤外線リモコンの 1 ~ 6	POSITION 1 ~ 6 に記憶した設定値を読み出したとき。
RESET n : OK n はプリセットのポジション番号 赤外線リモコンの 1 ~ 6	POSITION 1 ~ 6 に記憶した値をリセットしたとき。
ONE PUSH WB : OP	ワンプッシュオートホワイトバランスが実行されているときに点滅で表示。
ONE PUSH WB : OK	ワンプッシュオートホワイトバランスが正常に終了したときに点灯表示。
ONE PUSH WB : NG	ワンプッシュオートホワイトバランスが失敗したときに点滅で表示。

ご注意

- VISCA 通信、LAN 通信での操作では n: 1 ~ 16 まで対応可能です。
- 電源を入れ直しても設定を保持したい場合は、PRESET1 にカメラの状態を記憶させてください。

STATUS メニュー

メニューで設定した内容を一覧表示します。

<STATUS>		PAGE1
EXPOSURE	FULL	AUTO
WDR (VIEW-DR)		OFF
SLOW SHUTTER		OFF
GAIN LIMIT		43 dB
EX-COMP	OFF	0
PAGE		BACK

STATUS メニューは PAGE1 ～ PAGE5 まであります。
これらは内容を確認するためのもので、設定内容を変更することはできません。

PAGE1 : EXPOSURE メニューの各項目

PAGE2 : WHITE BALANCE モード、PICTURE メニュー
の各項目

PAGE3 : PAN TILT ZOOM メニューの各項目

PAGE4 : SYSTEM メニューの各項目と、付属の赤外線リモコンのチャンネル表示、VISCA 通信のボーレート、Video latency 設定

PAGE5 : LAN 通信での IP アドレス、サブネットマスク、マックアドレスの各項目 (BOTTOM スイッチ設定が LAN の場合のみ設定内容を表示)

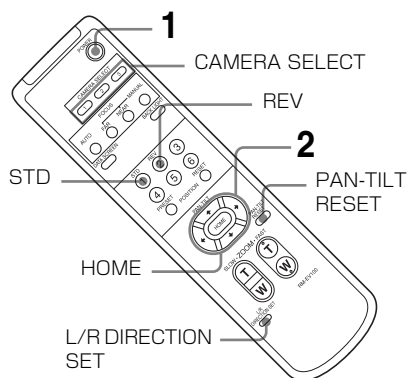
ご注意

VISCA 通信のボーレートは現在動作中の設定が表示されます。電源を入れた後に、SYSTEM SELECT スイッチや BOTTOM スイッチで設定を変更しても、その設定は無効となり表示は切り替わりません。

付属の赤外線リモコンを使った操作

パン・チルト・ズームを操作する

パン・チルトする



1 POWER スイッチを押す。

電源が入って、カメラは自動的にパン・チルトリセット動作をします。

2 矢印ボタンを押してパン・チルトする。

画面を見ながら、見たい方向の矢印ボタンを押します。

細かく動かすには：短く押します。

大きく動かすには：長く押し続けます。

斜めに動かすには：↗ または ↘ ボタンを押しながら、↖ または ↙ ボタンを押します。

カメラの向きを正面に戻すには

HOME ボタンを押します。

カメラの動きと見たい方向の矢印ボタンが違うときは

通常、↗ ボタンを押すと、カメラから出力される映像が、右方向に動くように設定されています。

カメラの動きを左右逆にしたい場合：

画面を見ながらカメラの向きを変えるときなど、カメラの動きを左右逆にしたい場合は、L/R DIRECTION SET ボタンを押しながら 2 (REV) ボタンを押します。

矢印ボタン	カメラの動き	設定方法
		L/R DIRECTION SET 押しながら REV ② 押す

もとの設定に戻すときは：

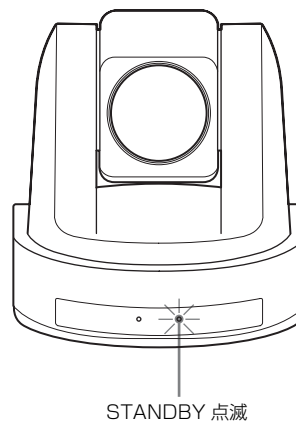
L/R DIRECTION SET ボタンを押しながら 1 (STD) ボタンを押します。

矢印ボタン	カメラの動き	設定方法
		L/R DIRECTION SET 押しながら STD ① 押す

ご注意

上記の設定は赤外線リモコンの発信信号を変えているだけで、カメラ本体の設定を変えているではありません。複数の赤外線リモコンを使うときは、赤外線リモコンごとに設定してください。

カメラの STANDBY ランプが点滅したときは

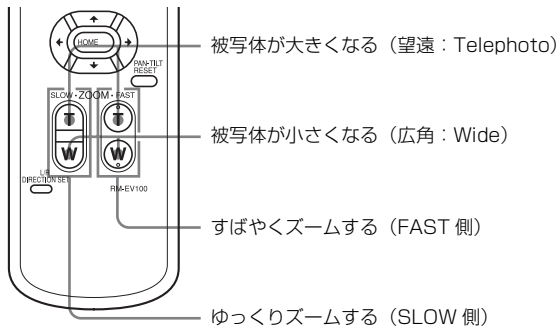


外力でカメラが動かされたときや、物や指などをはさんだ場合など、カメラがパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあります。

PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットしてください。

ズームする

ZOOM ボタンを押します。



ご注意

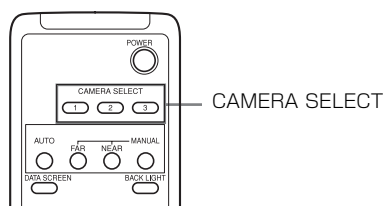
望遠にした状態でパン・チルト動作をすると、画面上、動作速度にムラがあるように見えることがあります。

複数のカメラを赤外線リモコンで操作する

- 1 操作したいカメラ後面の IR SELECT スイッチを 1、2、3 のどれかに合わせる。



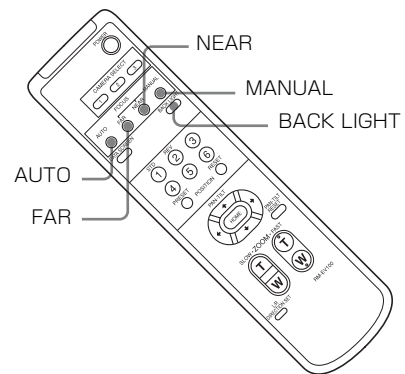
- 2 手順1で設定した番号と同じ番号の CAMERA SELECT ボタン（赤外線リモコン）を押す。



これで、特定のカメラを赤外線リモコンから操作できるようになります。

赤外線リモコンからカメラを操作するたびに、手順2で押した CAMERA SELECT ボタンが点灯します。

カメラを調節する



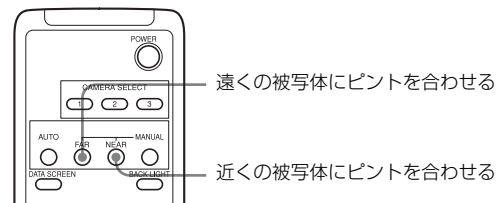
ピントを合わせる

自動でピントを調節するには

AUTO ボタンを押します。
自動的に画面中央部の被写体にピントが合います。

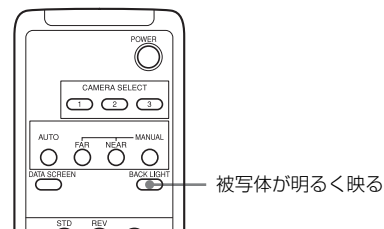
手動でピントを調節するには

MANUAL ボタンを押してから、FAR ボタンまたは NEAR ボタンで調節します。



逆光を補正する

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映る場合などで BACK LIGHT ボタンを押します。
解除するには、もう一度 BACK LIGHT ボタンを押します。



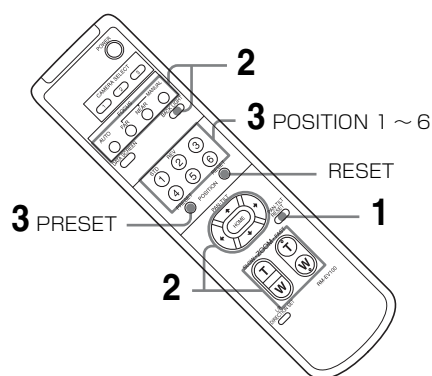
ご注意

BACK LIGHT ボタンは、EXPOSURE メニューの MODE を FULL AUTO に設定した場合のみ有効となります。

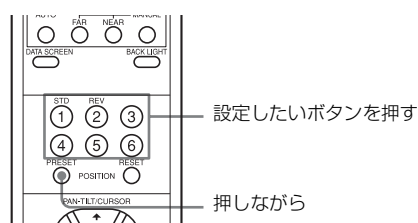
カメラの状態を記憶させる —プリセット機能

カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入切などを 16 種類まで記憶できます。

記憶できる設定項目については、「プリセット項目」(21 ページ)をご覧ください。



- 1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。
- 2 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正を調節する。(14、15 ページ参照)
- 3 PRESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押す。



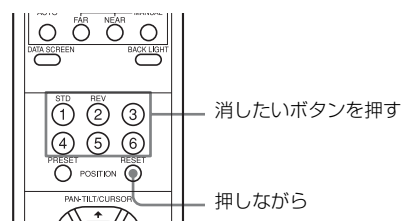
SYSTEM メニューで、DISPLAY INFO (12 ページ参照) を ON に設定しておくと、選んだ PRESET ボタンの番号「PRESET n: OK」が約 3 秒間表示されます。

記憶させた状態を呼び出すには

POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から 1 つ選んで押します。選んだボタンの番号「RECALL n:OK 記号」が約 3 秒間表示されます。

記憶を消すには

RESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ~ 6 ボタンの中から記憶を消したいボタンを選んで押します。



SYSTEM メニューで、DISPLAY INFO (12 ページ参照) を ON に設定しておくと、記憶を消した PRESET ボタンの番号「RESET n: OK」が約 3 秒間表示されます。

ご注意

- 電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- 電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。
- メニュー表示中は、プリセットの登録／呼び出し／消去の操作はできません。メニューから抜けて通常画面に戻ってから操作してください。

メッセージ一覧

本機に表示されるメッセージは、以下のとおりです。必要に応じて次に示す処置を行ってください。

ランプ表示

ランプ	意味と対策
電源を入れたとき STANDBY ランプと POWER ランプが 両点灯、両点滅、交互点滅	SYSTEM SELECT スイッチまたは BOTTOM スイッチが正しく設定されていません。 各スイッチの設定を確認してください。
STANDBY ランプが点滅	外力でカメラが動かされたときや、物や指などをはさんだ場合など、カメラのマイコンが カメラのパン・チルト位置を正しく記憶していないことがあります。 赤外線リモコンの PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットしま す。

画面表示

メッセージ	意味と対策
PRESET n:OK (n はプリセットのポジション番号 1 ～ 16)	POSITION 1 ～ 16 にカメラの状態を記憶させたときに約 3 秒間表示されます。 赤外線リモコンでは POSITION 1 ～ 6 になります。
RECALL n:OK (n はプリセットのポジション番号 1 ～ 16)	POSITION 1 ～ 16 に記憶させた設定値を読み出したときに約 3 秒間表示されます。 赤外線リモコンでは POSITION 1 ～ 6 になります。
RESET n:OK (n はリセットのポジション番号 1 ～ 16)	POSITION 1 ～ 16 に記憶させた値をリセットしたときに約 3 秒間表示されます。 赤外線リモコンでは POSITION 1 ～ 6 になります。
ONE PUSH WB:OP	ワンプッシュオートホワイトバランスが実行されているときに点滅表示されます。
ONE PUSH WB:OK	ワンプッシュオートホワイトバランスが正常に終了したときに点灯表示されます。
ONE PUSH WB:NG	ワンプッシュオートホワイトバランスが失敗したときに点滅表示されます。

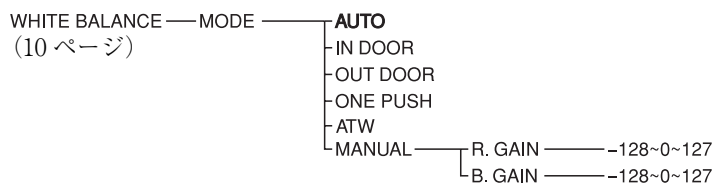
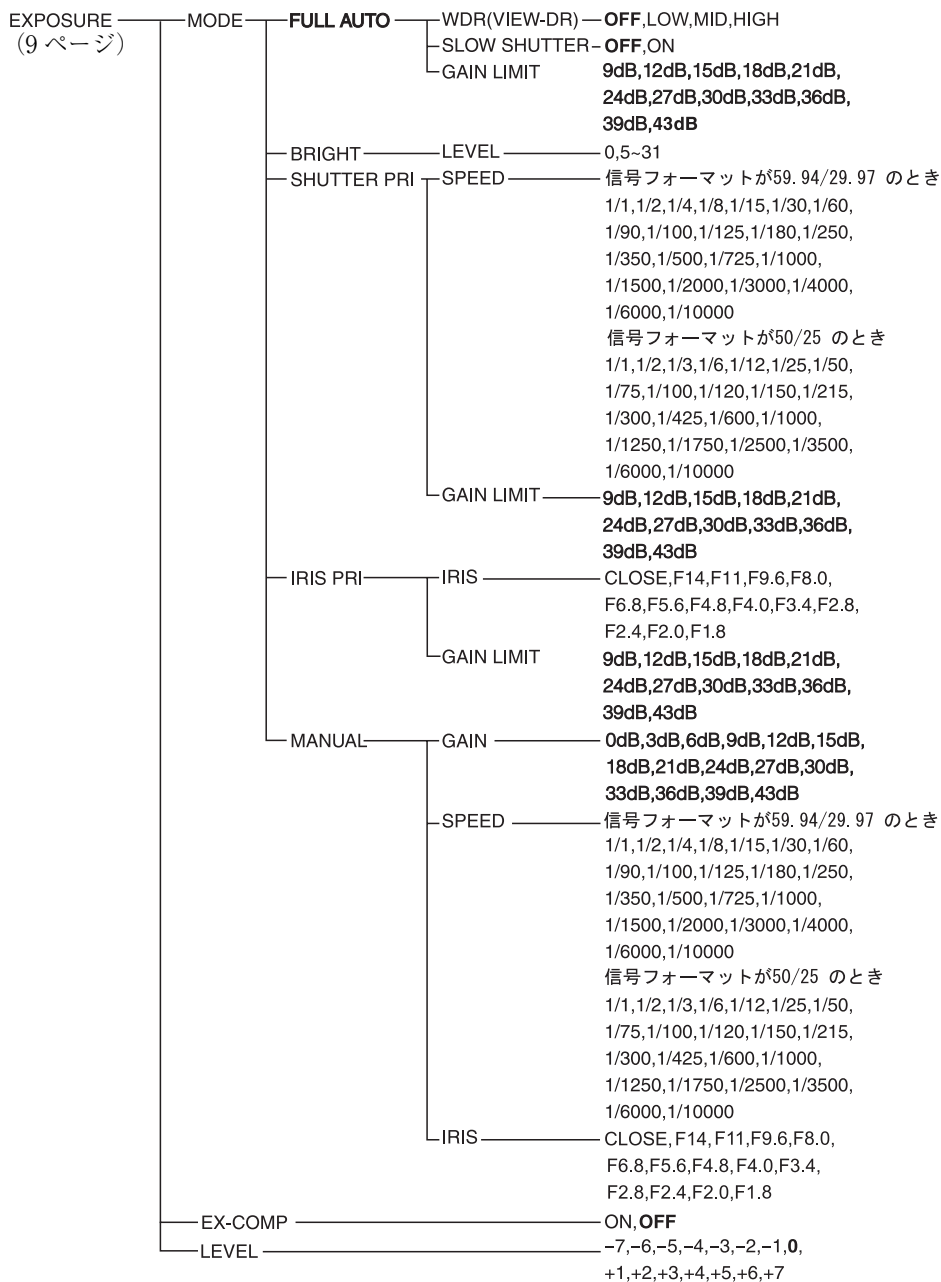
故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に下記の項目をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	AC 電源アダプターが DC 12 V 端子にしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	電源コードが AC 電源アダプターや電源コンセントにしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	—	電源コードのプラグをコンセントから抜き、しばらくしてからもう一度つないでください。
接続したビデオモニターに画像が出ない。	映像接続ケーブルが正しく接続されていない。	本機とビデオモニターの接続を確認してください。
	カメラの露出が正しく設定されていない。	EXPOSURE メニューで露出の設定を確認してください (9 ページ)。
	BOTTOM スイッチが正しく設定されていない。	BOTTOM スイッチの設定でスイッチ 2、5、6、7、8 が OFF であるかを確認してください。
	SYSTEM SELECT スイッチが正しく設定されていない。	本機の出力ビデオフォーマットとビデオモニターの入力ビデオフォーマットを確認してください。
パン・チルトが動作しない。	カメラのメニューが表示されている。	付属の赤外線リモコンの DATA SCREEN ボタンを押してメニューを消してください。
	パン・チルト範囲が制限されている。	PAN TILT ZOOM メニューの PAN/TILT LIMIT の設定を変更してください (11 ページ)。
EXPOSURE メニューで FULL AUTO 以外に設定できない。	WDR(VIEW-DR) が OFF になっていない。	WDR(VIEW-DR) を OFF に設定後に EXPOSURE の MODE 選択をしてください (9 ページ)。
赤外線リモコンのボタンを押しても動作しない。	赤外線リモコンの CAMERA SELECT ボタンの番号と、カメラの IR SELECT スイッチの設定が違っている。	IR SELECT スイッチの設定と合った CAMERA SELECT ボタンを押してください (15 ページ)。
コンピューターに接続しても VISCA 通信ができない。	コンピューターが正しく接続されていない。	本機とコンピューターの接続を確認してください。
		カメラ底面の BOTTOM スイッチが正しく設定されているか確認してください。
		SYSTEM SELECT スイッチが、映像信号が出力される位置になっているかを確認してください。
コンピューターに接続しても LAN 通信ができない。	コンピューターと正しく接続されていない。	本機とコンピューターの接続を確認してください。
		カメラ底面の BOTTOM スイッチで LAN 通信が正しく設定されているか確認してください。
	コンピューターが正しく設定されていない。	専用 PC アプリケーション設定での注意事項を確認してください。
カメラと IP リモートコントローラーと 1 対 1 で接続したとき動作しない。	クロスケーブルを使用していない。	1 対 1 の LAN 接続ではクロスケーブルを使用してください。
全く動作しない。	SYSTEM SELECT スイッチが正しく設定されていない。	SYSTEM SELECT スイッチが、映像信号が出力される位置になっているかを確認してください。

メニューの構成

本機のメニューは次のように構成されています。詳しい内容は、() 内のページをご覧ください。
各項目の初期設定値は、太字で示しています。



PICTURE (11 ページ)

- APERTURE — MIN, 1 ~ 14, MAX (初期値:10)
- HIGH RESOLUTION — ON, **OFF**
- NOISE REDUCTION — MIN, 1 ~ 5, MAX (初期値:3)

PAN TILT ZOOM (11 ページ)

- PAN/TILT LIMIT — ON, **OFF**
 - RIGHT — -099° ~ **+100°** (初期値:+100°)
 - LEFT — **-100°** ~ +099° (初期値:-100°)
 - UP — **+025°** ~ -024° (初期値:+025°)
 - DOWN — +024° ~ **-025°** (初期値:-025°)
- D-ZOOM — OFF, **ON**

SYSTEM (12 ページ)

- IR-RECEIVE — **ON**, OFF
- DISPLAY INFO — **ON**, OFF

STATUS (13 ページ)

- PAGE 1
 - EXPOSURE
 - 現在のモード表示 — FULL AUTO, BRIGHT, SHUTTER PRI, IRIS PRI, MANUAL
 - FULL AUTO — WDR(VIEW-DR), SLOW SHUTTER, GAIN LIMIT
 - BRIGHT — LEVEL
 - SHUTTER PRI — SPEED, GAIN LIMIT
 - IRIS PRI — IRIS, GAIN LIMIT
 - MANUAL — GAIN, SPEED, IRIS
 - EX-COMP, LEVEL
- PAGE 2
 - WHITE BALANCE
 - MODE — 現在のモード表示 — AUTO, IN DOOR, OUT DOOR, ONE PUSH, ATW, MANUAL
 - M.GAIN R
 - M.GAIN B
 - APERTURE
 - HIGH RESOLUTION
 - NOISE REDUCTION
- PAGE 3
 - PAN/TILT LIMIT
 - 現在の状態表示 — ON, OFF
 - RIGHT
 - LEFT
 - UP
 - DOWN
 - D-ZOOM
- PAGE 4
 - IR-RECEIVE
 - DISPLAY INFO
 - SYSTEM MODE
 - SIRCS CH
 - VISCA RATE
 - VIDEO MODE
- PAGE 5*
 - IP ADDRESS
 - SUBNET MASK
 - MAC ADDRESS
 - NAME

* PAGE 5: BOTTOM スイッチ設定が LAN の場合のみ設定内容を表示

プリセット項目

カメラ内部のメモリーには、次の付属の赤外線リモコンを使つての調整、およびメニューの設定項目が記憶されます。

赤外線リモコンを使つての調整

プリセットできる項目	プリセットポジション番号	
	1	2～6
パン・チルト位置	◎	○
ズーム位置	◎	○
フォーカス オート／マニュアル	◎	○
フォーカス位置	◎	○
逆光補正 オン／オフ	◎	○

メニュー項目

プリセットできる項目	プリセットポジション番号	
	1	2～6
EXPOSURE MODE	◎	○
WDR(VIEW-DR)	◎	○
SLOW SHUTTER	◎	×
AE GAIN LIMIT	◎	×
BRIGHT LEVEL	◎	○
SPEED	◎	○
IRIS	◎	○
GAIN	◎	○
EX-COMP ON/OFF	◎	○
EX-COMP LEVEL	◎	○
WHITE BALANCE MODE	◎	○
ONE PUSH WB R/B Data	◎	×
MANUAL R/B GAIN	◎	○
APERTURE	◎	○
HIGH RESOLUTION	◎	○
NOISE REDUCTION	◎	○
PAN/TILT LIMIT	◎	×
D-ZOOM	◎	○
DISPLAY INFO	◎	×

- ◎ 電源を入れ直しても設定は保持されています。電源を入れると、カメラはポジション 1 に記憶されている設定内容で起動します。
- 電源を入れ直しても設定は保持されています。
- × 電源を入れ直すと、設定は消え、工場設定値になります。

ポジション 1 について詳しくは、カメラの状態を記憶させる－プリセット機能（16 ページ）をご覧ください。

下記の項目はメモリー（ポジション 1）に記憶できますが、VISCA のみで設定可能です。

- Focus Near Limit
- IR Receive
- IR Receive Return

VISCA コマンドリストについては、テクニカルマニュアルを参照してください。テクニカルマニュアルについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

VISCA 通信、LAN 通信では 1～16 のプリセット番号を設定可能です。

ライセンスについて

本ソフトウェアでは uIP の一部のコンポーネントを利用しており、以下のライセンス条件が適用されます。

Copyright (c) 2001-2006, Adam Dunkels and the Swedish Institute of Computer Science All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR 'AS IS' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>